

令和5年度印西市地域包括支援センター事業実施報告

地域包括ケアシステム構築のための中核的機関でもある「地域包括支援センター」を、平成29年4月1日より、日常生活圏域ごとに1カ所、計5カ所設置しています。

圏域の人口等

圏域名	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
圏域内人口	21,118	37,620	23,578	12,368	16,330	111,014
65歳以上 高齢者数	7,118	9,901	3,619	3,693	2,610	26,941
前期 高齢者数	3,651	5,905	2,079	1,702	1,340	14,677
後期 高齢者数	3,467	3,996	1,540	1,991	1,270	12,264
高齢化率	33.7%	26.3%	15.3%	29.9%	16.0%	24.3%

(令和6年3月31日現在)

※以下、令和5年度(R5.4.1～R6.3.31)の実績

(1) 包括的支援事業

① 指定介護予防支援

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜
ケアプラン件数 第1号介護予防	36	78	49	19	24
第1号介護予防 支援分	690	666	366	395	300
うち委託件数	285	461	192	275	159
ケアプラン件数 介護予防給付	80	183	68	52	51
介護予防給付分	1409	1461	523	874	589
うち委託件数	709	1124	383	536	342

② 総合相談支援業務

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜
相談件数	1,086	2,205	799	1,168	645
来所	290	707	148	307	196
電話	493	1,103	446	679	301
訪問	288	295	180	170	115
その他	15	100	25	12	33

相談内容	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜
介護保険	831	1,175	514	948	347
疾病	448	674	287	567	138
うち認知症	142	248	90	100	35
経済・生活に関すること	99	62	21	114	53
家族に関すること	44	202	19	384	46
高齢者福祉サービス	68	100	41	28	31
安否確認	58	84	49	55	11

③ 権利擁護業務

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜
虐待継続対応(延)	25	9	0	6	1
虐待新規対応(実)	0	8	0	1	0
成年後見相談	5	7	4	9	8
消費者被害相談	5	0	0	0	0

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜
ケアマネからの相談支援	57	108	24	185	20
指導・助言	40	51	19	114	18
同行訪問	9	18	3	44	2
研修会・事例検討会の開催	0	0	1	1	0

⑤ 在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業

ア 在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議の開催

- 第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議（R5/7/7） 委員14名出席
 議題（1）令和5年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について
- 第2回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議（R5/10/27） 委員11名出席
 議題（1）印西市の認知症施策及び令和5年度事業について
 （2）印西市認知症初期集中支援チームの活動報告について
- 第3回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議（R6/3/8） 委員12名出席
 議題（1）令和5年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業報告及び令和6年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について

イ 多職種連携研修会

- 第1回（R5.6.19）参加者53名（日中開催）
 ①講義：「認知症の早期対応の有効性と連携について」
 講師 日本医科大学千葉北総病院認知症疾患医療センター 齋藤 多恵子 氏
- ②グループトーク：認知症支援について
- 第2回（R5.12.15）参加者33名（夜間開催）
 ※内容は第1回と同じ

ウ 市民講演会（在宅医療・介護連携推進事業市民講演会）参加者：80名

- 令和5年10月29日（日）開催 会場：文化ホール2階多目的室
 テーマ：「自分で選ぶ！在宅療養という選択～あなたは人生の最期をどこで過ごしますか～」
- ①講演：「在宅医療について」
 講師：印西総合病院院長 永井 雅巳 氏
- ②市民による在宅療養の体験談
 座長：千葉新都市ラーバンククリニック院長 河内 雅章 氏
 アドバイザー
 ・医師：印西総合病院院長 永井 雅巳 氏
 ・看護師：印西総合病院看護師長 日南田 ひとみ 氏
 ・看護師：フレンズ印西所長 杉山 光枝 氏
 ・ケアマネジャー：JA西印旛介護サービス居宅介護支援事業所 高橋 裕一 氏

エ 介護と医療サポートガイドの発行

地域包括支援センターや訪問看護事業所等と掲載内容や情報の見直しを行い、令和6年3月に1200部発行（隔年発行）。令和6年4月に居宅介護支援事業所・医療機関・公民館等へ配布した。

オ 各事業所の連絡会等

- ・特別養護老人ホーム連絡会 4回
 今後の連絡会の運営や介護人材就業促進事業等について検討。
- ・通所介護事業所連絡会 3回
 今後の連絡会の運営や介護人材就業促進事業等について検討。
- ・訪問看護ステーション会議 訪問看護事業所主催により11回出席。

⑥ 生活支援体制整備事業

【第1層（市全域）】

印西市社会福祉協議会へ委託

生活支援コーディネーター1名を配置

○市民フォーラムの開催

令和5年10月15日（日） 参加者41名

- ・講演 「住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるために～生活支援体制整備事業の取り組みと生活支援コーディネーターの役割～」 / 順天堂大学 前任准教授 松山 毅 氏
- ・第2層生活支援コーディネーターによる活動報告

○生活支援サポーター養成講座の実施 受講者13人 修了者10人

令和5年11月8日、15日、22日、28日（4日間コース）

1日目講師：高齢者福祉課 「印西市の高齢者の現状」

第1層生活支援コーディネーター「助け合いの地域づくり」

2日目講師：高齢者福祉課 「身体機能の変化と特徴」

社会福祉法人秋桜会 筒井 慈子 氏 「認知症の理解」

3日目講師：千葉県介護福祉士会 曾我 敦子氏 「高齢者の生活支援」

第1層生活支援コーディネーター 「高齢者への生活支援の紹介」

4日目講師：第1層および第2層生活支援コーディネーター

「地域での支え合いを考える～助け合い体験ゲームと地域での活動紹介」

○生活支援サポーター養成講座フォローアップ研修の実施 受講者19名

現役ボランティアによる説明：自分にできることを見つけてみませんか？

～地域の現役ボランティアさんたちの声～

生活支援コーディネーターによる説明：「地域にはこんな力が必要です！」

【第2層（日常生活圏域）】

各地域包括支援センター受託の法人へ委託

生活支援コーディネーター5名（各センター1名）を配置

○地域資源の見える化

・「印西市社会資源マップ～高齢者にやさしいお店・サービス等の情報誌～」を発行し、居宅介護支援事業所等への周知を行った。

○協議体

- ・1圏域で2つグループが立ち上がった。
- ・地域とのつながりを深めるための移動カフェや、地域の魅力を発信することで、地域の結束力を高めるための取り組みを実施した。

○その他活動

・男声歌声サロン「にじいろ」を北部圏域と南部圏域合同で立ち上げ、地域の方の通いの場として活動を行った。

【第1層・第2層協働】

・生活支援コーディネーター通信（広報誌）の作成

体制整備事業および生活支援コーディネーターの役割の周知のため広報誌を作成。

⑦ 認知症施策の推進事業

ア 認知症カフェの開催

各地域包括支援センターにて会場・内容を検討し実施した。

○延べ開催数 34回 参加延べ人数 764人

印西北部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	計
令和5年6月10日(土)	13時30分 ～ 15時30分	文化ホール	19
7月8日(土)		小林牧の里東集会所	17
10月14日(土)		文化ホール	27
11月25日(土)		中央公民館	32
12月9日(土)		上町会館	28
令和6年2月10日(土)		小林公民館	23
計			146

印西南部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	計
令和5年4月22日(土)	13時30分 ～ 15時30分	中央駅前地域交流館	24
5月22日(月)		サザンプラザ	28
7月22日(土)		中央駅前地域交流館	21
9月22日(金)		フレンドリープラザ	13
11月22日(水)		中央駅前地域交流館	22
12月22日(金)		サザンプラザ	22
令和6年2月23日(金)		フレンドリープラザ	24
3月22日(金)		サザンプラザ	26
計			180

船穂地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	計
令和5年5月26日(金)	9時30分～11時 30分	そうふけふれあいの里	20
6月24日(土)	13時30分～15時 30分	ふれあい文化館	20
7月21日(金)	9時30分～11時 30分	原青年館集会所	18
9月30日(土)	13時30分～15時 30分	船穂コミュニティセンター	23
10月14日(土)	13時30分～15時 30分	トミオ印西コスモステラス	28
11月18日(土)	13時30分～15時 30分	ふれあい文化館	26
12月16日(土)	9時30分～11時 30分	船穂コミュニティセンター	26
令和6年2月17日(日)	13時30分～15時 30分	ふれあい文化館	28
計			189

印旛地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	計
令和5年5月17日(水)	10時～12時 (2/16のみ 13:30～)	吉田地区構造改善センター	15
9月12日(火)		高岩寺	13
10月 3日(火)		ふれあいセンターいんば	16
10月24日(火)		吉高台団地集会所	16
11月17日(金)		平賀学園台自治会館	16
令和6年2月16日(金)		ウエルガーデンコミュニティールーム	20
計			96

本埜地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	計
令和5年4月30日(日)	13時30分 ～ 15時30分	本埜公民館	16
5月20日(土)		滝野小	50
7月16日(土)		牧の原地域交流センター	17
9月18日(木)		安食ト杭集会所	26
11月 3日(金)		滝野小学校	30
令和6年2月17日(土)		牧の原地域交流館	14
計			153

イ 認知症予防出前講座「知って安心!!認知症予防!～学べばこわくない認知症～」

令和5年 9月20日(水)	中央公民館	参加者16名
令和5年10月23日(月)	砂田集会所	参加者16名
令和5年11月18日(土)	船穂コミュニティセンター	参加者10名

ウ 認知症地域支援推進員・認知症キャラバン・メイトの養成

認知症地域支援推進員	2名
認知症キャラバン・メイト	5名

エ 認知症ケアパス

認知症地域支援推進員および千葉県認知症コーディネーター等との意見交換会にて掲載内容・情報の見直しを行い、令和4年3月に居宅介護支援事業所・医療機関・公民館等へ配布。

オ 人材育成に関する意見交換会

市内の認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターと、認知症施策の推進について、チームA(周知)、チームB(育成)、チームC(連携)に分かれて話し合いを行った。

	チームA	チームB	チームC	合計
意見交換会開催数	4回	2回	3回	9回

カ 認知症初期集中支援事業

印西市認知症初期集中支援チームを日本医科大学千葉北総病院に設置。

初期集中支援チームによる支援の実績は令和6年3月末で3件（昨年度からの継続ケース2件、新規ケース1件）。

キ 認知症早期発見事業

日本医科大学千葉北総病院主催イベント（世界アルツハイマーデー）を、印西市文化ホールで開催した際に、物忘れプログラムを設置し3名の利用があった。また、包括が実施する認知症カフェや地域のサロンで物忘れプログラムを活用し、令和5年度の利用者は合計15名だった。

介護予防事業のひとつとして作成した、印西オリジナルの「はじめよう！脳活問題集」を引き続き配布した。

ク 認知症メモリーウォーク in いんざい

認知症に対する理解と支援を広げるための取り組みとして、認知症メモリーウォークを開催した。認知症の当事者や家族及び支援者等が、認知症支援のシンボルカラー（オレンジ色）の物を身に着けて市内を行進し、認知症に対する啓発活動を行った。

開催日：令和5年11月11日

会場：イオンモール千葉ニュータウン

参加者：37名

後援：認知症疾患医療センター（日本医科大学千葉北総病院）

⑧ 地域ケア会議

	北部	南部	船穂	印旛	本埜
地域思いやりケア会議	3	1	1	1	1
地域ケア推進会議	3	3	3	1	1

自立支援型地域ケア会議

	月 日	参加人数
自立支援型地域ケア会議	5月23日	16人
	7月18日	10人
	9月19日	10人
	11月17日	11人
	令和6年1月19日	8人
	令和6年3月19日	9人

高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援や地域資源の発見と開発、自立支援の考え方の共有を目指し、多職種協働で検討を行った。

また、市内の居宅支援事業所の介護支援専門員や生活支援コーディネーターの資質向上のため、介護支援専門員等に自立支援型地域ケア会議に積極的に参加していただけるよう、段階的に体制を整えている。

市地域ケア会議

令和6年3月22日（金）開催 出席者：12名
 出席者：12名（高齢者福祉関係者、警察、消防、障害・介護サービス事業者等）
 議題：地域連携体制の推進について～事例を用いた検討～

⑨ 任意事業

ア 家族介護者教室

令和6年3月2日（日）午前10時30分～12時30分
 印西市文化ホール2階多目的室にて開催

テーマ：「一から学ぶ排泄介助～心構えから実技まで～」

内 容：講話及び実技

講 師：トミオ印西コスモステラス副施設長 曾我 敦子氏
 ユニ・チャーム株式会社 岩崎 竜也氏

参加者：40名

イ 認知症サポーター養成講座

○一般（成人）向けサポーター養成講座 12回 192人

対 象	受講人数
町内会・自治会等	42
企業	38
行政職員	30
その他市民	82

○小学校向け認知症サポーター養成講座 16校 1,124人

学校側のご理解ご協力により18校中16校で実施。対象は4年生から6年生。

講師は担当圏域の地域包括支援センターに在籍する認知症キャラバン・メイトが務め、45分のプログラムで実施した。

ウ 成年後見制度利用支援事業

成年後見市長申立て件数

令和5年4月1日～令和6年3月末	市長申立て件数	2件
	市長申立て相談件数	4件
	後見人等報酬助成	3件

○関係者支援方針会議の出席 3回

○受任調整会議の出席 4回

⑩介護予防・日常生活支援総合事業

ア 介護予防・生活支援サービス

通所型サービスC利用者数 4名 ※途中キャンセル者含む

通所型サービスC リハ職との同行訪問件数 2名 ※訪問のみの方も含む

イ 一般介護予防事業

○介護予防把握事業（健やかチェック）

基本チェックリストを主としたアンケートを、介護認定を受けていない75歳以上の対象者に送付した。

送付者数 9,563名

回答者数 5,421名

回答率 56.7%

○介護予防普及啓発事業

はじめよう！脳活問題集配布数 約 2,500冊

フレイル予防パンフレット配布数 約 1,200冊

介護予防教室「のばせ！健康寿命」 6回コース×2クール
参加実人数 20名 延べ参加人数 101名

フレイル予防教室「栄養教室」	参加人数	16名
" 「口腔教室」	"	10名
" 「運動教室」	"	14名

介護予防普及啓発講演会（隔年実施）

開催日：令和5年9月30日（土）開催

講演：「人生100年 あなたらしく過ごすために」

講師：一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 政策推進部副部長 中村一朗氏

参加：71名

超高齢社会において、「自分らしく暮らし続けていく」には何をしたらよいか、どのような地域資源があるのか等考えるきっかけとなるよう、介護予防や健康づくりの考え方を普及啓発することを目的とし講演会を実施。

講演のほか、市の介護予防関連事業の紹介、地域で「自分らしい暮らし」を実現し活躍している市民の方の発表も行った。

○地域介護予防活動支援事業

いんざい健康ちょきん運動の後方支援